

# 「三菱ダイヤモンド・サッカー」の時代

## 半世紀前の貴重なテレビ番組

加藤良一 令和4年(2022)12月23日

FIFAワールドカップ・カタール大会で日本代表は2大会連続の決勝トーナメント進出を果たした。今では当たり前のようにワールドカップに出てゆくが、筆者がサッカーをすこしかじった20代の頃は、ワールドカップなどまったく別世界の話で、手が届かない夢の舞台だった。それほど当時の日本のサッカーレベルは低かったし、サッカーのテレビ放送はせいぜい天皇杯決勝などたまにやるくらいで、ほとんどないに等しかった。

日本で初のワールドカップ生中継は、1974年ドイツの第10回大会だった。東京12チャンネル(現テレビ東京)で決勝を生中継し、その時は西ドイツが優勝した。まだ東西冷戦状態が続いている中での開催だった。

新婚2年目の1975年正月、バイエルンミュンヘンと日本代表の親善戦を観に国立競技場へ家内を連れて行った。皇帝と呼ばれたベッケンバウアーなど名立たるプレイヤーが揃っていた。双眼鏡を途中で買って行ったが、サッカーは広いピッチを速く動き回るので、観戦にはあまり役立たなかった。

### 三菱ダイヤモンド・サッカー

唯一のサッカー番組といえるのが、東京12チャンネルの「三菱ダイヤモンド・サッカー」だった。懐かしく思い出される方もおられるのではなかろうか。司会にアナウンサーの金子勝彦氏、解説には「東京大学運動会ア式蹴球部」※出身の岡野俊一郎氏があたっていた。ヨーロッパの国内リーグや国際親善試合、そしてFIFAワールドカップなどを放送した。ただ、番組枠は30分と短く、試合の前半と後半を2回(2週)に分けて放送するという、今ではどうてい考えられないものだったが、それでも金曜の夜が待ち遠しかった。

※ 東京大学運動会ア式蹴球部：“The University of Tokyo Association Football Club”、東京大学のサッカー部。「ア式蹴球」とはアソシエーション式フットボールの略、つまりサッカーのこと。

#### 三菱ダイヤモンドサッカー・テーマ曲

金子アナの「サッカーを愛するみなさん、ご機嫌いかがでしょうか」で始まった

[https://www.youtube.com/watch?v=gP8oO2k\\_Pts](https://www.youtube.com/watch?v=gP8oO2k_Pts)

当時、日本リーグの観戦に電車を乗り継ぎ、赤羽駅からバスで西が丘サッカー場へ向かった。まだJリーグなどなかった。アマチュア主体の日本サッカーリーグJSLが組まれていた時代だ。西が丘は、立ち見席を入れても7200人ほどのこじんまりしたサッカー専用スタジアムだったが、その分、ピッチと観客席が近く、臨場感は最高だった。

ボールを蹴る音、プレイヤーの足音、ぶつかり合う音、吐く息、それらがすぐ目の前で展開された。今のような組織だった応援スタイルなどなく、観衆は銘々が好き勝手に歓声を上げていた。

JSLは1965年に創設された。そして、1968年のメキシコ・オリンピックで釜本邦茂さんの活躍などで銅メダルを獲得し、日本のサッカー界は一時的に人気を得たが、その後、また低迷してしまった。

## ついにプロサッカー・Jリーグ開幕

メキシコ・オリンピック以後、苦難の模索が続き、ようやくJリーグが旗揚げしたのは、1993年になってからのことだ。

日本プロサッカーリーグ(Japan Professional Football League)、略称Jリーグは、1993年に10クラブで開始し、1998年までは1部のみ「Jリーグ」として最大で18クラブによって開催されるに至った。1999年から「Jリーグ ディビジョン1」(J1)と「ディビジョン2」(J2)の2部制に移行、2014年に「J3リーグ」(J3)が創設され3部制に移行している。J3リーグは、リーグ構成上、「アマチュア最高峰」の日本フットボールリーグ(JFL)と同格と位置付けられている。

2022年シーズン開始時点で、日本国内の40都道府県に本拠地を置く58クラブ(J1:18、J2:22、J3:18)が参加、また、JFLなどのカテゴリーに属するJリーグ百年構想クラブが11クラブ認定されている。

ところで、「サッカー」という呼び方は世界ではあまり使われておらず、「フットボール」が大勢を占めている。フランスでサッカーというよりフットボールというほうが通じやすかった経験をしたが、おそらくヨーロッパ以外でもそうではなかろうか。「日本サッカー協会」は“Japan Football Association”(JFA)と英語と日本語で表記がちがう状態となったままである。余談だが、英語圏ではサッカーに興味がない人を“**NO FOOT!**”と呼ぶ。

## Jリーグ百年構想

- ◎あなたの町に、緑の芝生におおわれた広場やスポーツ施設をつくること。
- ◎サッカーに限らず、あなたがやりたい競技を楽しめるスポーツクラブをつくること。
- ◎「観る」「する」「参加する」。スポーツを通して世代を超えた触れ合いの輪を広げること。

「サッカー熱」を測るものに、都道府県別に人口に対する「観客動員数」がある。2022年のトップは佐賀県の19.6%、5人に1人がスタジアムで観戦していることになる。すごい熱量である。佐賀県には1999年、Jリーグに参加したJ1・サガン鳥栖があり、全20市町と協議会を設立し、スタジアムに足を運んでもらうために特産品を配ったり、臨時の貸し切りバス代を補助したりと懸命の努力を続けている。



ワールドカップが終わり、日本代表は2大会連続のベスト16進出を果たし、全体の9位となった。日本人選手の活躍は目覚ましいものがあった。

イタリアの『TUTTOmercatoWEB』は12月19日、大会を通じた各選手の平均採点ランキングの上位を発表した。日本からは堂安 律が堂々6位にランクインしている。堂安はグループステージのドイツ戦とスペイン戦で、後半途中出場ながら同点弾をマーク。それぞれの試合で2-1と逆転勝利した日本に大きく貢献している。スペイン戦で放ったシュートが時速120.04kmを示し、グループステージで2位となったほど強烈なものだった。

今回のワールドカップでは大きな収穫があった。これを次はJリーグに生かし、一層盛り上がることを期待したい。

#### 【関連記事】

- ・VARテクノロジー 変えたサッカールール 神の手ゴールは二度と生まれない (PDF:2022/12/9)  
[http://rkato.sakura.ne.jp/sport/s21\\_VARtechnology\\_ga\\_kaeta\\_soccerule.pdf](http://rkato.sakura.ne.jp/sport/s21_VARtechnology_ga_kaeta_soccerule.pdf)
- ・イスラムでビールは許されない バドワイザー販売禁止 賠償問題！ (PDF:2022/12/1)  
[http://rkato.sakura.ne.jp/sport/s20\\_islam\\_de\\_beer\\_wa\\_yurusarenai.pdf](http://rkato.sakura.ne.jp/sport/s20_islam_de_beer_wa_yurusarenai.pdf)
- ・FIFAワールドカップ・カタール大会 (PDF:2022/2/7)  
[http://rkato.sakura.ne.jp/sport/s19\\_fifa\\_w-cup2022.pdf](http://rkato.sakura.ne.jp/sport/s19_fifa_w-cup2022.pdf)
- ・食の町リヨンの味も忘れて (PDF:2002/7/13)  
[http://rkato.sakura.ne.jp/sport/s6\\_shokunomachi\\_lyon\\_no\\_ajimowasurete.pdf](http://rkato.sakura.ne.jp/sport/s6_shokunomachi_lyon_no_ajimowasurete.pdf)



SPORTS Top^



Home Page^